



良好に保存された「たたら製鉄」遺跡
 鍛冶屋谷たたら遺跡 附供養塔



指定区分	県指定史跡
読みかた	かじやだにたたらいせき つけたり くようとう
所在地	鏡野町富西谷
指定年月日	昭和58年4月8日
解説	「たたら製鉄」とは、砂鉄を原料とする日本古来の製鉄法である。江戸時代、津山藩営であった大倉山鉄山の跡である。明治維新後も操業を続け、明治20年(1887年)頃廃業したと伝えられている。炉跡、金池跡、元小屋跡などの山内(たたら師のむら)施設の遺構が良好な状態で保存されている。
アクセス方法	米子自動車道久世ICから車30分
公開状況	自由
設備	のとり原キャンプ場利用可能  駐車場  トイレ
備考	のとり原キャンプ場のすぐそばに位置。富振興センター隣接の「たたら展示館」では、この遺跡からの出土品や作業の様子などが展示されている。(開園:平日9~16時 / 無料 / 問:鏡野町教育委員会富教育歴史資料館 (0867)57-2022)

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	鍛冶屋谷たたら遺跡 附供養塔
よみかた	かじやだにたたらいせき つけたり くよう とう
しょざいち (所在地)	鏡野町富西谷
していたひ (指定した日)	昭和58年4月8日
せつめい	「たたら製鉄(せいてつ)」とは、日本で大 むかしから伝わっている、鉄(てつ)をつく る方法です。ここでは江戸時代(えどじだ い)のおわりごろから明治(めいじ)20年ご ろまで作業(さぎょう)が行われていまし た。のとり原キャンプ場(じょう)からすぐそ ばにあります。